

北方対策本部 令和7年度 予算のポイント

令和7年度予算額 **17億18百万円**令和6年度予算額 16億83百万円
(対前年度比 36百万円増、102%)

重点課題

- ① 北方領土隣接地域における地域一体となった地域振興にも資する啓発促進策の検討
- ② 元島民の高齢化への対応
- ③ 着実な国民世論の啓発（特に若い世代への啓発）

主な事業

●北方領土隣接地域における地域一体となった啓発促進策についての調査研究（40百万円）

<新規>

- 北方領土隣接地域に多くの人を継続的に呼び込み、北方領土問題に関する関心喚起・理解促進を図るとともに、隣接地域の振興にも資するよう、地域一体で進める取組等、効果的な啓発の在り方を検討。



●北方領土ストーリーテリング・デジタルアーカイブ設計・開発等

（51百万円）<新規>

- 多元的な資料を視覚的に連携させてストーリーを描き出し、当時の社会・生活等を様々な角度から直感的に訴えかけることができる仕組みを設けたシステム。令和5年度より構築に向けた検討を開始。令和7年度は設計・開発を行う。



●戦後80年節目啓発事業開催費（51百万円）<新規>

- 特に若年層を対象に、全国各地で北方領土に関する啓発パネルや歴史的資料の展示、署名活動やリーフレットの配布、ステージイベント等を行い、北方領土問題への正しい理解を深め、今後の返還要求運動への参画を促す。